

コード	402040801
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

課コード	115
課 名	農林課
課長名	田本耕一
担当者	諸國寿也

評価対象事業名称	診療獣医事業費	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政 策 名 称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施 策 名 称	農林業の振興	項コード	1
基本事業コード	40204	基本事業名称	畜産の振興	目コード	4
事務事業コード	4020408	事務事業名称	診療獣医事業費	細目コード	607
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町家畜診療所条例	

計画 (PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。					
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標		
(対象1) 畜産農家			(対象指標1) 9戸		
(対象2) ペット飼育者			(対象指標2) 1016		
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)		
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)
*****		家畜診療: 78件 (814,490円) 小動物診療1,209件 (7,499,720円)	***	***	***
			家畜診療	78件	100%
			家畜診療	78件	100%
			家畜診療	78件	100%
			①	(達成率分析) 実績814千円/家畜診療収入予算690千円	家畜診療件数/家畜診療受付件数 平成20年度
			②	(達成率分析) 実績7,499千円/小動物診療収入予算7,499千円	小動物診療件数/小動物診療受付件数 平成20年度
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)		
家畜診療及び畜産指導に関する業務を行うことにより、畜産振興を図る。 又、離島である町内で唯一の臨床獣医師であるため、可能な限り小動物診療にも対応する。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)
			***	***	***
			開所日数	243日	100%
			開所日数	243日	100%
			①	(達成率分析) 実績日数243日/計画日数243日	開所日数/開所すべき日数 平成20年度
			②	(達成率分析)	

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件数	825	825	766	78	78					
	② 件数	4,464	4,464	3,255	1,209	1,209					
成果指標	① 日数	731	731	488	243	243					
	②										
総事業費 C (A+B)		千円	32,532	32,532	18,887	13,645	13,645				
直接事業費 A		千円	30,432	30,432	17,487	12,945	12,945				
人件費 B		千円	2,100	2,100	1,400	700	700				
内 訳	従 事 職 員 数	人	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1				
	人 件 費 単 価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国 補 助 金	千円									
	県 補 助 金	千円									
	起 債	千円									
	そ の 他	千円	30,432	30,432	17,487	12,945	12,945				
一 般 財 源		千円	2,100	2,100	1,400	700	700				

コード 402040801

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	家畜の診療及び畜産指導のために必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	時代情勢や環境の変化に関係なく家畜診療は必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	農家の生産意欲の向上及び離島での小動物飼育者の利便性が図られている。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	現制度にて十分である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	診療機関として家畜診療所が存在しなかったら多大な影響がある。
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる ● できない	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	最小限の経費において遂行している。
	人件費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	現在の人件費を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	診療体制の維持に努め、農家や住民の利便性にかなうよう事業を進めること
		効率性	経費の執行については適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。